

* 公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団 2015 年度在宅医療助成事業 *
 「在宅医療」知っていますか？ 家で最期まで療養したい人に。
 後援：那須塩原市 主催：しもつかれいど 市民公開講座

日時：2015年8月23日(日) **午前の部・午後の部**
10:00～・13:30～

会場：那須野が原ハーモニーホール小ホール
アクセス JR 東北新幹線 那須塩原駅または西那須野駅下車 バスまたは TAXI
 東北自動車道 西那須野塩原 IC から約9Km (約20分)
〒324-0041 栃木県大田原市本町1丁目 2703-6

午前の部 10:00～12:00 地域包括ケアの勉強会
講師：厚生労働省 保険局長 唐澤 剛さん

「地域まるごとケアのまちづくり」

午前・午後の部
 ともに**入場無料**
 要・事前申込み

午後の部 開場 13:00 開演13:30～

地域で生まれる！自分らしく生きて、生きて、生ききる！

オープニングα波の歌声 まんまる笑顔のみんなのおうち代表 水野谷房恵氏
基調講演① 「住み慣れた地域で最期まで暮らし続けるために」
東近江市永源寺診療所所長 花戸 貴司 氏

基調講演② 「おひとりさまの終の住みか」あなたはどこで
ノンフィクションライター 中澤 まゆみ 氏
顔の見えるシンポジウム 参加者と共に ～16:00 閉会

“市民のつどい” 開催趣旨
 誰もがこの世に生を受け、その人らしく、最期まで生ききるために、わたしたちは何ができるのでしょうか。
 『地域まるごとケア』、『とも暮らし』
 みんなで一緒に考えてみませんか？
 しもつかれいど世話人：児玉幸弘、大石剛史、月井貴美代、飯島恵子

団体紹介：「しもつかれいど」は2008年に設立した栃木県北の介護や福祉にかかわる仲間の勉強会とまちづくりを目的に集ったゆるやかな団体です。
 しもつかれ+かれいど=しもつかれいど 栃木の郷土食とギリシャ語の美しい形“かれいど”が合体。
 “しもつかれいど・カフェ”は、現場から学ぶ多職種・他業種のつどい。介護・福祉・医療・ソーシャルケアサービス仲間たちの顔の見えるネットワーク
 毎月第3月曜日 “しもつかれいどカフェ” 定例開催

参加申込み：FAX0287-38-1869 (事務局・ゆいの里)

お名前 年代(年齢) お住いの地域(県外・県内)

お電話でも参加受付いたします。 ☎0287-38-1868

8月23日市民のつどい 講師紹介

午前の部 唐澤 剛 氏 厚生労働省保険局長

午後の部 花戸貴司氏 永源寺診療所所長

中澤まゆみ氏 ノンフィクションライター

永源寺の
地域まるごとケア

花戸貴司 氏
國森康弘 氏



「ご飯が食べられなくなったらどうしますか？」

東近江市永源寺地区で、地域に根ざした「地域包括ケア」や「在宅医療」などを中心に活動し、東近江市永源寺診療所（東近江市山上町）で所長を務める花戸貴司さんの著書「ご飯が食べられなくなったらどうしますか？」

「死なないための医療」にしがみつくのではなく、「自分らしく死ぬ」ために、患者自身がどのような医療を選ぶかが、最近、注目されている。著者・花戸貴司医師は、この選択を堅苦しく、深刻に迫るのではなく、「ご飯が食べられなくなったらどうしますか？」と、日常の会話のなかで、ごく自然に患者に問いかける。その問いかけを受けて、永源寺のお年寄りが自分らしく死ぬために、どう医療を選び、どう生活し、どう人と付き合ったかを、患者自身の生活風景として描いていく。さらに、その生活風景を國森康弘カメラマンの写真の力を借りて、読者の目に浮かぶように表現した。

自分らしく安らかに最期まで暮らせる高齢者の 住まい



おひとりさまの終活

中澤まゆみ 著 ⇒

人生100年時代！知っていれば、ひとりで死ぬのも怖くない！ おひとりさまの終の住みか⇒

終活の前の就活情報、オーダーメイドの「見守り」、介護対策、防災対策、お金、医療、終の住処、葬送まで。

「介護」は？「医療」は？元気なうちに「住まい方」と「しまい方」を考え、制度と実態を知って、自ら選択するための徹底ガイド。

国が推し進める在宅への流れ。選択肢は増えたけど、どれを選べばいいのかわからない。

8月23日午前の部 10:00~12:00
那須野が原ハーモニーホール小ホールにて
「地域まるごとケアのまちづくり」勉強会開催！
勉強会の講師は厚労省保険局長
唐澤 剛さんです。
みんなで、わがまちのこれから、
まちづくりをいっしょに考えましょう。